

私の留学体験記

広島県立大崎海星高等学校 2年 濱田 紗代 (はまだ さよ)

留学期間 令和元年8月31日 ~ 令和元年9月12日 (13日間)

留学先 ウェリントン高校 (ウェリントン, ニュージーランド)

私はニュージーランドに2週間留学しました。理由としては、世界にはたくさんの国があるのに日本という島国だけに閉じこもっていたくなかったからです。そんな思いとは裏腹に、留学に行く前は海外に対して偏見がありました。例えば、「外国人は怖そう」、「治安が悪そう」などかです。しかし、いざニュージーランドへ行ってみると、私のイメージとは違い、人も優しく治安も良かったので安心しました。私が人の優しさを一番感じる事ができたのは、ホストファミリーと過ごした時間でした。ホストファミリーから借りた水筒を無くしてしまった時、「気にしないで」と寛大な心で許してくれました。心理面だけでなく行動面でも変わることができました。今までの自分は人に話しかけることを積極的にしていませんでした。ですが、留学先の高校では、疑問に思ったことは間違いを恐れず、積極的に聞くことができました。

ニュージーランドでの思い出はたくさんありますが、その中でも次の3つの出来事が思い出に残っています。

1つ目は、食事の時間です。ホストマザーが作る食事で、ニュージーランド料理だけでなくメキシコやイギリスなどの、世界中の料理を食べることが出来ました。日本に居るとなかなか食べられないようなものも食べることができ、良い経験になりました。食事の時間は家族団欒で、週末になるとホストファミリーの祖父母も家に来て、一緒に食事をしました。私の家がどこにあるのかということや、海星高校はどのような学校なのかなど、たくさん質問してくれたので嬉しかったです。しかし同時に、日本の素晴らしさを改めて感じました。ニュージーランドではモーニングティーと言うものがあり、10時くらいにスイーツやフルーツを食べます。その後ランチをとり、家に帰ってきたらアフタヌーンティーでおやつを食べます。夕食後はデザートにアイスやケーキを食べました。日本の時と比べて食べる回数が多く、健康に悪いと感じました。

2つ目は、ホストファミリーの親戚の家に、羊、豚、鶏などの動物を見に行ったことです。羊の赤ちゃんを抱かせてもらった時は、初めて抱っこしたので暴れないか心配でしたが、大人しくてとても可愛かったです。大人の羊には餌をあげました。羊を間近に見てみると大きくて、少し怖かったです。ですが、崖を素早く登っていく瞬発力があり、とてもかっこよかったです。別の日には、ホストファミリーのおばあちゃんの家で蜂蜜を作っていたので、蜂蜜をもらいに行きました。おばあちゃんの家近くにある親戚の家では、豚を解体していました。ニュージーランドは日本より自然と密接に関わっていると感じました。

3つ目は、ニュージーランドの同世代の学生と話せたことです。今勉強していることについてや、街を案内してくれた時には、目に入る建物について話したりしました。伝わらない時もあったけど、その時は違う表現で伝えるとわかってくれました。自分の言葉が伝わった時はとても嬉しかったです。単語だけで言っても理解してくれて、失敗を恐れずに何か話してみるの大切なことだと思いました。留学から帰るときにはSNSで繋がり、SNS上で会話することも出来ました。

日本とニュージーランドを比べてみると、ニュージーランドは日本より自由だと思いました。具体的に言うと、日本では露出の多い服を着ると肌を出して不謹慎と思う人も多いと思いま

すが、ニュージーランドでは、それもファッションの一部として受け入れていると感じました。また、私が海外へ行く前にご飯が美味しくないなどの偏見に囚われていたように、一歩外へ出て実際に見て感じないと、固定概念は壊れないと思いました。今まで私は、何かと理由をつけてやらないことが多くありましたが、これからは、何事にも挑戦していきたいと思います。